

E-Agility Conference 2011

「協議会からのご挨拶」

2011年10月4日

E-AGILITY協議会

運営委員幹事 株式会社 シナジー研究所 依田 智夫

運営委員幹事 株式会社 匠BusinessPlace 牛尾 剛



E-Agilityはユーザーと開発者の 協力関係を支援し加速したい。

「ユーザーと開発者のどまんなかを行きたい」
というヘッドラインを思いつく

5年前にあるメーカーで話したこと

システム開発は
最初からボタンを掛け違える

比較表

	ユーザー (発注者)	開発者 (受注者)	考察
要件定義	明確にするのは難しい。変更には柔軟に対応して欲しい。要件についても適切なアドバイスが欲しい。	要件については100%ユーザーの責任だ。要件は見積の根拠だ。要件を変えてもらっては困る。	要件の追加変更に対する姿勢は全く逆。
スケジュール、納期	絶対に守ってもらわなくては困る。遅れたら損害賠償だ。	要件の追加や変更があったら遅れるのは当たり前。そのときは追加請求しよう。	納期遅れに対する姿勢も逆。
テクノロジー(IT)	テクノロジーに対する責任はない。	うちの技術者ならなんとかできるだろう。彼はそれやったことがあります。	誰がテクノロジーについて真剣に考えているのだろう。

プロジェクトがうまくいくのは、次の二つの条件が満たされたときに限るようである

- ① 要件の追加変更が絶対に発生しない。
- ② 技術的な問題が発生しない。

システム開発は
一触即発だ！

言いたかったこと

ステークホルダーの誰かが不幸になる ゼロサムな開発からの卒業

- コスト
- 納期
- 品質
- 病気？

E-Agility Conference

第1回記念講演

1. 協議会発足のご挨拶
 - ユーザー企業の今、これから
 - 中山 嘉之氏（協和発酵キリン株式会社 情報システム部長）、他
2. 事例セッション1
 - 「アジャイル開発によるユーザー企業の有り方」
～アジャイル開発にどの様に関わるか～
 - 菅野 修一氏（小島プレス工業株式会社）
3. 事例セッション2
 - ソーシャルゲーム開発における アジャイル開発事例
 - 堀内 康弘氏（株式会社gumi 取締役最高技術責任者）



本日の講演者の皆さん



コンセプトリーダー
中山さん
手組2.0を提唱



「納品しない受託開発」
倉貫さん



データマネジメントの
ゴッドファーザー
松本さん

一緒に新しい時代の息吹を感じて、
深呼吸しましょう！



**E-AGILITY 協議会に
参加する !!**

E-AGILITY 協議会に参加希望の方は
こちらからご登録ください

CLICK HERE

<http://pw.tech-arts.co.jp/e-agility/>

勉強会(寺子屋)

- ユーザ企業メンバー向けの有料勉強会
- 有料で質の高いコンテンツ
- 外部講師招聘／運営員メンバーで運営
- カリキュラム／内容は11月合宿で決定予定！

